

タウンニュース

川崎市宮前区版 2022年2月11日掲載

市政報告

「交差点」のストレス軽減へ

〜宮前区の渋滞を解消し、住みやすいまちに〜 みらい川崎市議会議員団 おだかつひさ



おだかつひさ

1961年幸区生まれ。駒場東邦高校、中央大学法学部卒業(地方自治、都市政策専攻)国会議員秘書を経て、2003年市議会初当選、現在5期目。健康福祉委員会委員、2021年5月、市議会副議長に就任。好きな言葉「知行合一」、「嫌を避くる者は皆内足らざるなり」有馬在住

おだかつひさ 検索

交差点の渋滞の解消「交差点」は信号調整と車は、多くの皆さんからい線数を変更③「稗原交差点」は左折帯を延ばす④宮前区の周辺は、クルマ「子の神交差点」は道路と歩行者との接触密度が 拡幅などの対策を図つ高く、ストレスフルな道 てきました。路が多いのが現実です。 さらに、4月から市

「第4次緊急渋滞対策」①「野川交差点」と「馬」で、改善が必要な交差点「感知式信」の一つに選ばれたのが「蔵敷交差点」。

「右折車線」の整備が理想ですが、「道路拡幅が困難」とされました。そこで私は、市担当部局と、警察担当部署との協議を求めてきました。平成12年度に、8号線側の交差点の約50メートル手前からセンターライン

ここは、溝の口からの市道「宮前8号線」と、稗原からの「宮前9号線」が交差する場所です。交差点に流入する右折車が多く、後続車が詰まって、通行を妨げていることが渋滞原因と考えられています。解決には「右折車線」の整備が理想ですが、「道路拡幅が困難」とされました。そこで私は、市担当部局と、警察担当部署との協議を求めてきました。平成12年度に、8号線側の交差点の約50メートル手前からセンターライン

粘り強い折衝が必要
「市道」「宮前8号線」と、稗原からの「宮前9号線」が交差する場所です。交差点に流入する右折車が多く、後続車が詰まって、通行を妨げていることが渋滞原因と考えられています。解決には「右折車線」の整備が理想ですが、「道路拡幅が困難」とされました。そこで私は、市担当部局と、警察担当部署との協議を求めてきました。平成12年度に、8号線側の交差点の約50メートル手前からセンターライン

を右側に膨らませて、右折車があっても後続車が直進できるように車線が拡幅されました。今回も9号線側で同様の対応ができれば、かなりの渋滞解消が期待できます。市は渋滞対策に関して「都市計画道路」の整備、「市道」や「交通ルネック」の改良など、いくつかの改良案を常に用意してはいます。しかし、交差点の「改良」ひとつをとっても、ひとすじ縄ではいきません。日ごろの市民からの要望や、議会での提案で、「事業優先度」が市の内部で協議され、決まります。警察の主張する「安全性」との調整も不可欠です。電柱の移設などをお寄せください。

市民からの声が出発点
今回の「第4次緊急渋滞対策」では、区内の「土橋交差点」も提議することができました。鷺沼再開発に関連して交通流の改善は、最優先課題です。現区役所側から交差点に向かう際の右折車の滞留対策と鷺沼駅側から交差点に流入する左折車が横断する歩行者と交錯することによる渋滞対策が必要です。道路事情は、時代とともに刻々と変化していきます。まちの「住みやすさ」は、道路事情の改善と一体不可分と考えます。皆さんの周辺をぜひ点検していただき、お声を寄せてください。